

鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成18年度）の訂正について 平成21年10月

平成19年10月5日に公表しました「鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成18年度）」につきまして、一部の数値に誤りがございましたので、以下の通り訂正いたします。（赤字下線の部分が変更箇所になります。）

●鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成18年度）[概要版]

【P1】

②死傷者数

運転事故による死傷者数は、長期的に減少傾向が続いています。平成18年度は、死傷者数が 792 人（対前年度比 605 人（43.3%）減）、うち死亡者は 319 人（対前年度比 125 人（28.2%）減）でした。

死亡者のうち、踏切事故によるものは124人（対前年度比13人（9.5%）減）、人身障害事故によるものは 194 人（対前年度 増減なし）、また、列車脱線（踏切事故を除く。）に起因する死亡者は0人（対前年度比112人減）でした。

④人身障害事故件数

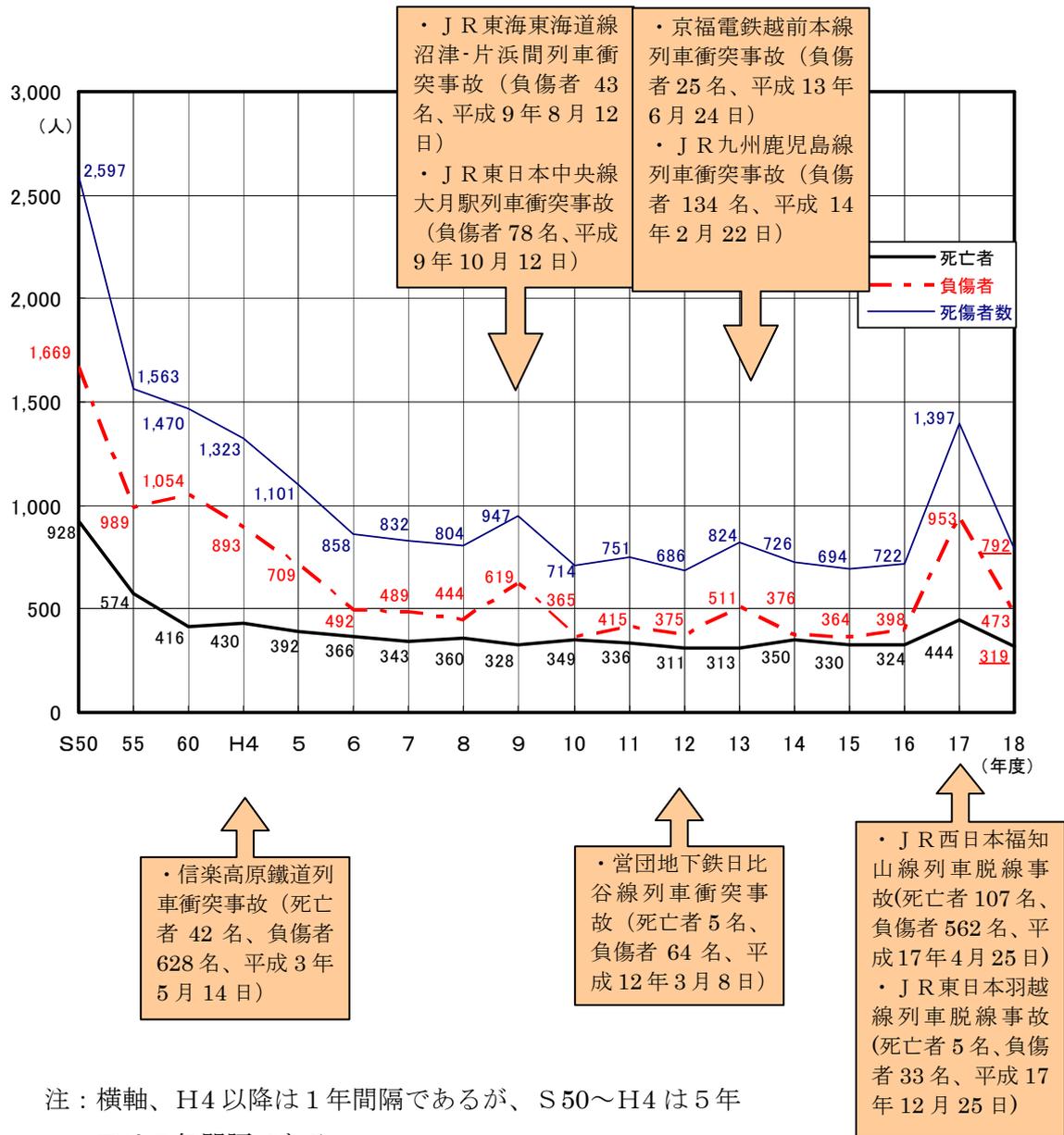
運転事故の中で約半数（45.1%）を占める人身障害事故の件数は、近年は微増傾向を示しています。平成18年度は、383件（対前年度比15件（4.1%）増）でした。人身障害事故のうち、線路内立入りによるものが 206 件（53.8%）で、ホーム転落やホーム上の接触によるものが161件（42.0%）で、身体障害者の方が死傷した人身障害事故が2件（そのうち視覚障害者の方の事故は1件）でした。

●鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成18年度）

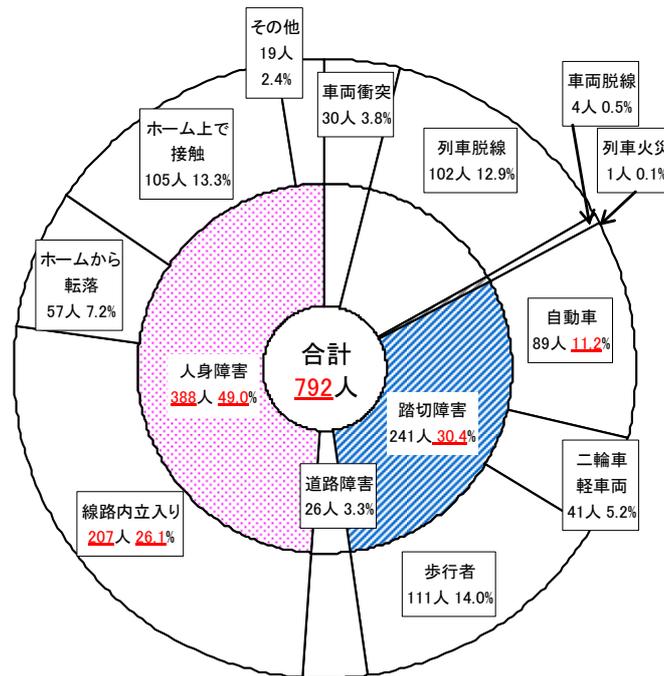
【P9】

（1）死傷者数の推移

○平成18年度は、死傷者数が 792 人（対前年度比 605 人（43.3%）減）、うち死亡者は 319 人（対前年度比 125 人（28.2%）減）でした。

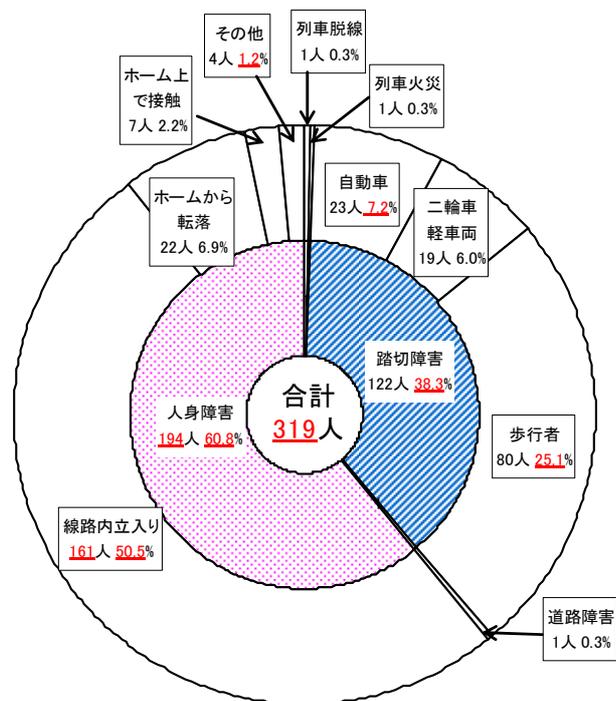


【P10】



【P11】

○平成18年度の死亡者のうち、踏切事故によるものは124人（対前年度比13人(9.5%)減）、人身障害事故によるものは194人（対前年度増減なし）、また、列車脱線（踏切事故を除く。）に起因する死亡者は0人（対前年度比112人減）でした。



【P 1 6】

(2) 原因別人身障害事故件数

○人身障害事故の主な原因は、歩行者等が線路内に立ち入ることによるものが 206 件 (53.8%) で半数以上を占めており、次いで、ホームからの転落による列車との接触やホーム上での接触によるものが 161 件 (42.0%) です。

